

早期診断・早期対応のための体制整備

認知症初期集中支援チームの設置

【目的】

認知症の人やその家族が安心して暮らし続けるために「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築すること。

多職種による認知症ケアの中心的存在

早期診断・早期対応のための体制整備

認知症初期集中支援チームの設置

【対象者】

- 原則として40歳以上で**在宅生活**の者
- 以下の条件に該当する者
 - ・ 医療・介護サービスを**受けていない**。
 - ・ “ **中断している**。
 - ・ “ **受けているが、
症状が顕著で対応に苦慮している**。

早期診断・早期対応のための体制整備

認知症初期集中支援チームの設置

【チーム員】

認知症
サポート医



連携

訪問者



+



医療系 + 介護系

- ・ **認知症サポート医**が必須
- ・ 医療系職員と介護系職員が**チーム**で対応する。
- ・ チーム員**会議**で支援方針を決める。
- ・ 短期**集中的**に支援する。

早期診断・早期対応のための体制整備

認知症初期集中支援チームの設置

【みよし市の場合】

認知症
サポート医



連携

訪問者



+



医療系 + 介護系

- ・ **市直営**で設置
- ・ **市職員**と**病院職員**を中心に**市内事業所の協力を得て**チーム編成する。
- ・ 地域支援推進員も関与
- ・ 平成**28**年度中に開始